



平成22年6月4日

各 位

会社名 愛知電機株式会社  
代表者名 取締役社長 山田 功  
(コード番号 6623 名証第1部)  
問合せ先 経営企画部  
総務グループ長 磯部 紀守  
(TEL 0568-31-1111)

### スマートグリッド検討会の設置に関するお知らせ

当社は、国内外で検討が進められているスマートグリッド（次世代送配電網）構想に向けて、実証研究やシステム、製品開発への対応を強化すべく、6月1日付で「スマートグリッド検討会」を設置いたしました。

本会は、電力系統の保護、制御技術ならびに大容量精密電源および太陽光発電用パワーコンディショナの開発で培ってきたパワエレ技術など、当社が保有する技術を融合させ、スマートグリッドへの対応強化をはかることを目的とするものです。

#### ■背景

現在、国内外において二酸化炭素排出量の削減に向けて、太陽光発電を始めとした再生可能エネルギーの導入が積極的に進められています。国内では2020年までに現状の20倍にもなる2,800万キロワット、2030年には40倍となる5,300万キロワットの太陽光発電の導入に向けたアクションプランが政府から示されています。

再生可能エネルギーの大量導入については、既存の電力系統への影響が危惧されており、その影響評価およびこれに対応できる送配電網の構築が求められています。一方、二酸化炭素排出量削減に対しては、電気自動車（EV）およびプラグインハイブリッド車（PHV）等の普及拡大の取組みが積極的に進められており、その社会インフラの整備が求められています。

当社は、1986年から太陽光発電事業に取り組んでおり、昨年は250キロワットの大容量パワーコンディショナの開発を行っております。また、これまでに、電力会社殿向け自動電圧調整器および配電線自動化システムの開発、納入ならびにEVおよびPHV用充電スタンド、アイドリングストップ用給電スタンドの開発を行っております。

これらの技術を融合させることにより、社会インフラとなるスマートグリッドの構築に活かしていけるものと考えております。

#### ■体制の強化

当社はこれまで、各種製品をお客さまのニーズに応じ、担当する部門が個別に開発、設計、製作を行ってきました。今後は、全社開発委員会（委員長 取締役社長）の直下に開発、企画、営業、技術の関係者による「スマートグリッド検討会」を設置し、関連情報の共有化、部門間連系の強化をはかり、お客様に対する積極的な提案活動や関連製品の開発に努めてまいります。

[構成] リーダー：取締役開発部長（開発委員会 副委員長）

メンバー：電力事業部、機器事業部、経営企画部、開発部の関係者 9名

以 上